



HPE SMALL BUSINESS SOLUTIONS FOR VIRTUALIZATION

CONTENTS

iQuote ソリューションタイトルの使用	2
独自のソリューションの構築	2
ステップ 1: ソリューションのサイジング	2
手順 2: 適切な構成と推奨オプションを選択	3
ハイブリッドクラウドオプション	7
サービスとファイナンス	8
シンプルで安全、手頃な価格	8
関連資料	8

IQOTE ソリューションタイトルの使用

iQuote は、HPE 製品・ソリューションの構成、見積、購入プロセスをシンプルに一元管理できるようにする、オンラインセールスイネーブルメントプログラムです。iquote.hpe.com/ (英語) から Universal バージョンにアクセスするか、HPE 認定パートナー/ディストリビューターに現在の価格をお問い合わせください。

独自のソリューションの構築

ステップ1: ソリューションのサイジング

HPE Small Business Solutions for Virtualization は、仮想プロセッサ (vCPU) の台数、ならびにメモリ、ストレージなどその他のハードウェアリソースに合わせてサイジングされます。これらのソリューションは、スタンドアロンソリューションとしても、また他のサーバーと組み合わせて耐障害性に優れたマルチノードクラスター構成として運用することもできます。加えて、HPE Shared Storage Solution オプションを使用すると、複数のサーバーが、外部ストレージをスタンドアロンソリューションとして共有するか、またはフェイルオーバークラスター内で共有できるようになります。表 1 は、利用可能な構成と、必要な vCPU の数に基づいて選択すべき基本構成を示します。

表 1. HPE Small Business Solutions for Virtualization

基本構成に使用されるサーバー	サポートされる vCPU*	物理 CPU/コア	開始メモリ	開始データストレージ
HPE ProLiant ML30 Gen10	4	1 x 4 コア	64GB (16GB x 4)	4.8TB (1.2TB x 4)
HPE ProLiant ML110 Gen10	12	1 x 10 コア	96GB (16GB x 6)	6.0TB (1.2TB x 5)
HPE ProLiant ML350 Gen10	12	1 x 10 コア	96GB (16GB x 6)	6.0TB (1.2TB x 5)
HPE ProLiant DL20 Gen10	4	1 x 4 コア	64GB (16GB x 4)	4.8TB (2.4TB x 2)
HPE ProLiant DL160 Gen10	9	1 x 8 コア	96GB (16GB x 6)	4.8TB (1.2TB x 4)
HPE ProLiant DL180 Gen10	9	1 x 8 コア	96GB (16GB x 6)	4.8TB (1.2TB x 4)
HPE ProLiant DL325 Gen10	21	1 x 16 コア	128GB (16GB x 8)	6.0TB (1.2TB x 5)
HPE ProLiant DL360 Gen10	15	1 x 12 コア	96GB (16GB x 6)	6.0TB (1.2TB x 5)
HPE ProLiant DL380 Gen10	9	1 x 8 コア	96GB (16GB x 6)	4.8TB (1.2TB x 4)
HPE ProLiant DL380 Gen10 (パフォーマンス)	42	2 x 16 コア	384GB (32GB x 12)	12.0TB (2.4TB x 5)
HPE ProLiant DL385 Gen10	21	1 x 16 コア	128GB (16GB x 8)	9.6TB (2.4TB x 4)
共有ストレージソリューション	ノード当たり 15	1 x 12 コア	96GB (16GB x 6)	外部ストレージ 10.8TB (1.8TB x 6)

*物理コアの予約後にゲスト VM で利用可能な vCPU :

- 合計コアカウントが 8 未満の場合、物理コア 1 つを予約します。
- 合計コアカウントが 8 以上の場合、物理コア 2 つを予約します。



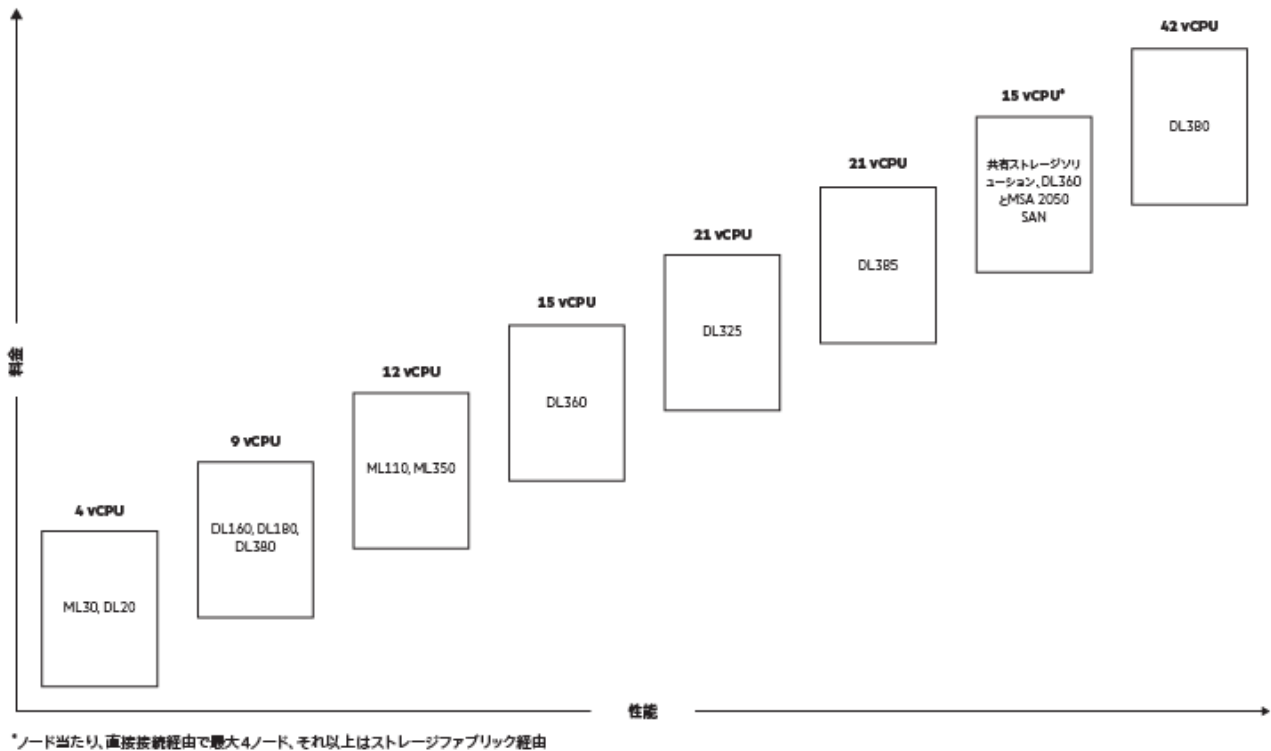


図1. 仮想化パフォーマンスのスケール

手順2: 適切な構成と推奨オプションを選択

ビジネス成果とサイジングの要件にあわせてソリューションオファーとエレメントを選択

HPE の小規模企業向けソリューションは、ベースシステムにオファーを加えた構成です。これらの組み合わせは特別価格の基盤であり、ソリューションの構成を構築する際の出発点になります。ビジネス成果とサイジングの要件に合わせて適切な小規模企業向けソリューション構成を選択したら、推奨サービスを追加して機能を拡張することもお勧めします。

HPE 小規模企業向けソリューションの構成は、高コスト効率を実現するように設計されており、容易に拡張できるビルディングブロックの構成を採用しています。冗長 HPE ハードディスクドライブ (HDD) またはソリッドステートドライブ (SSD) を搭載し、RAID ミラーで構成可能なため、オペレーティングシステム (OS) の起動速度が早く、ドライブ障害に起因するデータ損失から保護されています。SAS ドライブは、より高速なデータ転送でより優れたパフォーマンスと低レイテンシを実現します。仮想化データベースを展開する場合など、ディスク I/O ワークロードが高くなることが予想される場合に推奨されます。複数のドライブをハードウェアまたはソフトウェア RAID で構成できるため、可用性とデータ保護が向上します。また、ほとんどの HPE 小規模企業向けソリューションには、さらなる可用性保護のために冗長電源が装備されています (または装備可能です)。

HPE 小規模企業向けソリューションは、ニーズの拡大に合わせた、ワークロードに応じたスケールアップが可能です。スケールアップするには、より多くの VM、ユーザ、または大量のリソースを消費するアプリケーションをサポートできるよう、オプションのストレージやメモリを追加します。2 番目のプロセッサを ProLiant ML350、DL160、DL180、DL360、および DL380 Gen10 サーバーに追加できます。加えて、一部のソリューションでは、ディスクの加速化を通じたサーバーパフォーマンスの向上を図るため、HPE SmartCache および関連するハードウェアを追加することができます。

CPU、メモリ、およびストレージのサイジング計算

CPU、メモリ、およびストレージリソースを各ゲスト仮想マシン (VM) に割り当てる必要がある一方で、一部のリソースをホストマシン用に確保する必要もあります。一部の仮想化ソリューションには、物理リソースのオーバープロビジョニングを可能にする動的割り当て機能が含まれますが、より保守的なアプローチは、展開前にソリューションの計画を立てることで、オーバープロビジョニングを回避することです。このセクションでは、保守的な割り当てを念頭に、物理リソース要件の決定方法について説明します。

一般原則として、最小 2 つの vCPU、および最小限必要なストレージとメモリ (ゲスト VM の OS によって決まる) の 2 倍をゲスト VM ごとにプロビジョニングする必要がありますが、これはゲスト VM ごとのワークロード要件によって変化する可能性があります。

HPE では、特定の展開に応じて、物理サーバーリソースの一部をホスト用に確保することを推奨します。

- 1～2 つの物理コア
- 計画 VM ゲストごとに少なくとも 800 MB のメモリ
- OS/ハイパーバイザーベンダーによって指定される最小限必要なストレージの少なくとも 2 倍

ワークロードに応じて要件が異なるため、それぞれのハイパーバイザーのドキュメントを参照してください。

vCPU リソースの割り当て

一般的に、VM ゲストに割り当てられている合計ワークロードに応じて、物理 CPU コアごとに 1.5 vCPU をプロビジョニングできます。ワークロードとソフトウェアの推奨事項に応じて、ホストに対して少なくとも 1 つまたは 2 つの物理コアを確保するようにします。

合計 CPU コア数の要件を計算するには：

1. 展開する VM の数と、VM ごとに何個の vCPU が必要かを決定します。
2. 必要な vCPU の合計数を 1.5 で除算します。
3. ステップ 2 の結果を、ホストマシン向けに確保するコア数 (推奨最小値は 1～2) に追加します。

一例として、平均的なワークロードに対する保守的な構成は以下のようになります。

表 2. 平均的なワークロードの VM 構成

VM ゲストアプリケーションのワークロード	VM ゲスト vCPU の要件
ネットワークインフラストラクチャサービス (Active Directory、DNS、DHCP など)	2
ファイルおよびプリントサーバー	2
データベースサーバー	2
合計 vCPU	6
vCPU のサポートに必要な物理コア (合計 vCPU ÷ 1.5)	4
ホストマシンの物理コア要件	
vCPU のサポートに必要な物理コア	4
ホスト向けに確保する物理コア	2
必要な物理コアの合計	6

仮想化メモリのリソース

一般的な経験則に基づいて、各 VM ゲストをゲストの OS の最小ハードウェア要件の少なくとも 2 倍でプロビジョニングしますが、ゲスト VM のワークロードとアプリケーションの要件に応じてこの数字を増やすべき場合もあります。HPE Small Business Solutions for Virtualization は、メモリ使用率を最適化するため、CPU あたり、チャンネルごとに少なくとも 1 つの DIMM で事前に構成されています。ワークロードが大量にメモリを消費すると予想される場合、メモリの増加を検討します。メモリの追加時は、HPE QuickSpecs ガイドラインを遵守してください。

仮想化ストレージのリソース

HPE Small Business Solutions for Virtualization は、OS またはハイパーバイザーをホストする RAID 1 ミラーとしての HDD または SSD のペア、および VM ファイルをホストする RAID 1、RAID 5、または RAID 6 アレイとして構成されている 2 つ以上の HDD によって構成されます。

現実世界では、VM はサーバーの物理ストレージ上のファイルとして存在し、仮想ディスクファイル (vDisk)、VM 構成ファイル、および通常は VM スナップショットファイルで構成されます。一般的な経験則に基づいて、各ゲスト VM を 2 つの vDisk ボリュームでプロビジョニングします。

1 つの vDisk ボリュームはゲスト OS 用であり、ゲスト OS に必要な最小ディスク領域の少なくとも 2 倍とする必要があります。

もう 1 つの vDisk は VM ワークロードデータ用であり、ワークロードのニーズと期待されるストレージの拡大に従ってサイズを調整する必要があります。vDisk のストレージは動的に拡張するように設定できるため、最初は物理ストレージの割り当てを減らし、ハイパーバイザーが必要に応じて vDisk サイズを事前に設定した最大値まで増やせるようにできます。こうすることで、ストレージリソースのオーバプロビジョニングが可能になりますが、物理ディスクの利用量を監視し、すべての VM ストレージニーズに対して十分な物理ストレージが利用可能であることを注意深く確認する必要があります。



加えて、VM に割り当てられたメモリが増えるほど、ゲスト VM の OS ボリュームに割り当てるべきストレージも増加します。これにより、ゲスト OS のページファイルに十分なストレージを確保します (要件についてはゲスト OS のドキュメントを参照)。大容量の vDisk 要件が予想される場合、より多くの物理ストレージの追加を検討します。

高可用性仮想化ソリューションを必要とする事業には、HPE SMB Shared Storage Solution for Virtualization を検討してください。このソリューションは、HPE MSA 2050 Dual Controller Fibre Channel SAN 外部ストレージアレイを組み合わせた 2 つ以上の HPE ProLiant DL360 Gen10 サーバーで構成されます。複数のサーバーが MSA ストレージを共有してフェイルオーバー機能を追加するか、または単独の共有ストレージを実装することで、それぞれ独自の内部ストレージを所有する複数のサーバーと比べて所有コストを削減できます。ディスクとエンクロージャーを追加することでその初期設定を超えた拡張が可能であり、最大 192 のディスクドライブに対して最大 7 つの追加エンクロージャーを設定できます。

バックアップ、リカバリ、レプリケーション

ほとんどの HPE Small Business Solutions for Virtualization には、以下の形態でオプションのバックアップソリューションが用意されています。

- RDX リムーバブルディスクバックアップシステム
- StoreEver MSL 1/8 テープオートローダー
- StoreEver MSL2024 テープライブラリ

Veeam® Enterprise Backup & Replication™ソフトウェアは、HPE Small Business Solutions for Virtualization の推奨オプションです。

Veeam では、単一の管理コンソールから、仮想、物理、およびクラウド環境のバックアップ/リカバリを素早く、柔軟かつ確実に行うことができます。バックアップターゲットは、ネットワークアタッチストレージ (NAS) サーバーを含めて、十分な容量のある任意のターゲットとすることができ、ことに注意してください。レプリケーションターゲットサーバーは、ソース VM ホストと少なくとも同等の機能があり、フェイルオーバーシナリオが必要になった場合に十分なリソースを確保できる必要があります。

表 3. ベースタワーシステムとオファーエレメント

	HPE ProLiant ML30 Gen10	HPE ProLiant ML110 Gen10	HPE ProLiant ML350 Gen10
vCPU キャパシティ*	4	12	12
システム	4U タワー 8 x SFF ホットプラグベイ	4.5U タワー 8 x SFF ホットプラグベイ	4U タワー 8 x SFF ホットプラグベイ
プロセッサ	Intel® Xeon® E-2224 (4 コア)	Intel® Xeon® Silver 4210 (10 コア)	Intel Xeon Silver 4210 (10 コア)
メモリ	PC4-2666 : 4 x 16 GB	PC4-2933 : 6 x 16 GB	PC4-2933 : 6 x 16 GB
データストレージ	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 4	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 5	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 5
OS ストレージ	HDD : 300GB 12G 10K SAS x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2
ディスクコントローラー	HPE P408i-p Gen10	HPE P408i-p Gen10	HPE P408i-a Gen10
ネットワーク	1GbE x 2 ポート	1GbE x 2 ポート	1GbE x 4 ポート
電源装置	500W RPSU x 2	800W RPSU x 2	800W RPSU x 2
パフォーマンスオプション	480 GB SSD および HPE SmartCache	480 GB SSD および HPE SmartCache	480 GB SSD および HPE SmartCache 展開バンドル (CPU、メモリ、ストレージ、ネットワーク)
ディザスタリカバリオプション		HPE RDX+ 外付けドッキングシステム Veeam Enterprise Backup and Replication	
ソフトウェア	Windows Server 2019 Standard (デフォルト)、Server 2019 Datacenter (オプション)、VMware vSphere® Essentials (オプション)		
	HPE iLO Advanced (推奨)		

注: これらの構成は、ソリューションオファーと推奨オプションを表します。

* 物理コアの予約後にゲスト VM で利用可能な vCPU。合計コアカウントが 8 未満の場合、物理コア 1 つを予約します。合計コアカウントが 8 以上の場合、物理コア 2 つを予約します。



表 4. ベースラックシステムとオファーエレメント

	HPE ProLiant DL20 Gen10	HPE ProLiant DL160 Gen10	HPE ProLiant DL180 Gen10	HPE ProLiant DL325 Gen10	HPE ProLiant DL360 Gen10	HPE ProLiant DL380 Gen10	HPE ProLiant DL380 Gen10 (パフォーマンス)	HPE ProLiant DL385 Gen10
VCPU キャパシティ*	4	9	9	21	15	9	42	21
システム	1U ラック SFF ホットプラグベイ x 4	1U ラック SFF ホットプラグベイ x 8	2U ラック SFF ホットプラグベイ x 8	1U ラック SFF ホットプラグベイ x 8	1U ラック SFF ホットプラグベイ x 8	2U ラック SFF ホットプラグベイ x 8	2U ラック SFF ホットプラグベイ x 8	2U ラック SFF ホットプラグベイ x 8
プロセッサ	インテル Xeon E-2234 (4 コア)	インテル Xeon Silver 4208 (8 コア)	インテル Xeon Silver 4208 (8 コア)	AMD EPYC 7302P (16 コア)	インテル Xeon Silver 4214 (12 コア)	インテル Xeon Silver 4208 (8 コア)	インテル® Xeon® Gold 5218 (16 コア) x 2	AMD EPYC 7302 (16 コア)
メモリ	PC4-2666 : 4 x 16 GB	PC4-2933 : 6 x 16 GB	PC4-2933 : 6 x 16 GB	PC4-2933 : 8 x 16 GB	PC4-2933 : 6 x 16 GB	PC4-2933 : 6 x 16 GB	PC4-2933 : 12 x 16 GB	PC4-2933 : 8 x 16 GB
データストレージ	HDD : 2.4TB 12G 10K SAS x 2	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 4	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 4	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 5	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 5	HDD : 1.2TB 12G 10K SAS x 4	HDD : 2.4TB 12G 10K SAS x 5	HDD : 2.4TB 12G 10K SAS x 4
OS ストレージ	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2	SSD : 240GB RI SATA x 2
ディスクコントローラ	HPE P408i-a Gen10	HPE P408i-a Gen10	HPE P408i-a Gen10	HPE P408i-a Gen10	HPE P408i-a Gen10	HPE P408i-a Gen10	HPE P408i-a Gen10	HPE P408i-a Gen10
ネットワーク	1GbE x 2 ポート	1GbE x 2 ポート	1GbE x 2 ポート	1GbE x 4 ポート	1GbE x 4 ポート	1GbE x 4 ポート	10/25GbE x 2 ポート、プラス 1GbE x 4 ポート	1GbE x 4 ポート
電源装置	500W RPSU x 2	500W RPSU x 2	500W RPSU x 2	800W RPSU x 2	500W RPSU x 2	500W RPSU x 2	800W RPSU x 2	800W RPSU x 2
パフォーマンスオプション	なし	480 GB SSD および HPE SmartCache	480 GB SSD および HPE SmartCache	480 GB SSD および HPE SmartCache	480 GB SSD および HPE SmartCache 展開バンドル (CPU、メモリ、ストレージ、ネットワーク)	480 GB SSD および HPE SmartCache 展開バンドル (CPU、メモリ、ストレージ)	960 GB SSD および HPE SmartCache	960 GB SSD および HPE SmartCache 展開バンドル (CPU、メモリ、ストレージ、ネットワーク)
ディザスタリカバリオプション	HPE RDX + 外付けドッキングシステム	HPE MSL 1/8 テープオートローダー	HPE MSL 1/8 テープオートローダー	HPE MSL 1/8 テープオートローダー	HPE MSL 1/8 テープオートローダー	HPE StoreEver MSL 2024 テープライブラリ	HPE StoreEver MSL 2024 テープライブラリ	HPE StoreEver MSL 2024 テープライブラリ
Veeam Enterprise Backup and Replication								
ソフトウェア	Windows Server 2019 Standard (デフォルト)、Server 2019 Datacenter (オプション)、VMware vSphere Essentials (オプション)							
HPE iLO Advanced								

注: これらの構成は、ソリューションオファーと推奨オプションを表します。

* 物理コアの予約後にゲスト VM で利用可能な vCPU。合計コアカウントが 8 未満の場合、物理コア 1 つを予約します。合計コアカウントが 8 以上の場合、物理コア 2 つを予約します。



表5. 共有ストレージソリューション

HPE ProLiant DL360 Gen10 と HPE MSA 2020 SAN	
vCPU キャパシティ	ノード当たり 15
ストレージシステム	MSA 2050 SAN 2U ラック SFF ホットプラグベイ x 24
ストレージコントローラー	MSA 2040 SAN コントローラー x 2
コントローラーポート	コントローラーあたり SFP+ x 4
データストレージ	HDD : 1.8TB 12G 10K SAS x 6
ストレージネットワーク	10 Gb SFP+ トランシーバー x 4
ケーブル	SFP+ 1.2m DAC ケーブル x 2
コンピュータシステム	DL360 Gen10 1U ラック SFF ホットプラグベイ x 8
プロセッサ	インテル Xeon Silver 4214 (12 コア)
メモリ	PC4-2933 : 6 x 16 GB
OS ストレージ	SSD : 240GB RI SATA x 2
ディスクコントローラー	HPE P408i-a Gen10
ネットワーク	1GbE x 4 ポート
ストレージネットワーク	10/25GbE SFP+ x 2 ポート
電源装置	500W RPSU x 2
ソフトウェア	Windows Server 2019 Standard (デフォルト)、Server 2019 Datacenter (オプション)、VMware vSphere Essentials (オプション) HPE iLO Advanced

注: 高可用性フェイルオーバーで推奨される複数サーバー (VMWARE VSPHERE® VMOTION®など): 高度な冗長構成では、最大 4 つのノードをストレージに直接接続できます。ストレージネットワークファブリックを 4 つ以上のノードに追加する必要があります。

* 物理コアの予約後にゲスト VM で利用可能な VCPU。合計コアカウントが 8 未満の場合、物理コア 1 つを予約します。合計コアカウントが 8 以上の場合、物理コア 2 つを予約します。

ハイブリッドクラウドオプション

ハイブリッドクラウドへとソリューションを展開するには、まずハードウェア構成から開始し、次に Microsoft Windows Server と Hyper-V を使用した HPE Small Business Solutions for Virtualization のセクションで説明した留意事項を検討します。ハイブリッドクラウドソリューションを作り上げる追加の Microsoft Azure Cloud Service を以下に示します。

- **Azure 仮想マシン**は、開発と試験、アプリケーションの実行、データセンターの拡張など、幅広い種類のコンピューティングソリューションに仮想化の柔軟性をもたらします。ニーズにあわせて構成できる、オープンソースソフトウェアならではの自由さがあります。データセンターにもう 1 つのラックがあるかのように、アプリケーションを数週間ではなくわずか数秒で展開できる力が得られます。Linux®、Windows Server、SQL Server®、Oracle、IBM、SAP®をサポートしています。
- **Azure Backup** は、Microsoft クラウドでデータのバックアップと復元を行うために使用されます。Azure Backup は、既存のオンプレミスまたはオフサイトのバックアップソリューションを、信頼性の高い安全でコスト競争力のあるクラウドベースのソリューションに置き換えます。Azure Backup では、従量制課金モデルにより自動的にバックアップストレージを割り当てて管理するため、消費したストレージに対してのみ支払いを行います。さらに、Azure Backup は Azure クラウドの基本機能と無制限のスケールを活用し、メンテナンスや監視の経費をかけることなく高可用性を実現します。



サービスとファイナンス

HPE Pointnext サービス

現在および将来のお客様のビジネスを念頭に構築されたサービスパートナーである HPE Pointnext サービスは、幅広いサポートレベルと応答時間でお客様の可用性目標の達成をサポートしており、HPE に簡単に問い合わせできるため、迅速に問題を解決できます。HPE Pointnext サービスは、包括的なハードウェア/ソフトウェアサービスを提供して IT インフラストラクチャの可用性向上に貢献するとともに、社内の IT スタッフに HPE の専門知識を提供します。簡素化機能が組み込まれたサービスツールとリモート管理ツールを活用することで、生産性を向上させることができます。

次のようなサービスが提供されます。

- HPE ファウンデーションケア
- HPE プロアクティブケア
- HPE プロアクティブケアアドバンスト
- HPE 導入サービス

注記

HPE では、ファウンデーションケア 24x7 を HPE 小規模企業向けソリューションの最低限推奨されるサービスレベルとして推奨しています。

HPE ファイナンシャルサービス

新しい IT の購入およびその最新版の維持は、財政面で障害となる場合があります。HPE では、必要な IT インフラストラクチャの取得および支払いのためのより優れた方法を提案しています。

HPE サブスクリプションサービスでは、SMB はクラス最高のコンピュート、ストレージ、ネットワーキング関連のハードウェア、ソフトウェア、アクセサリ、そして毎月のサブスクリプション料金を予測できるため、安心して利用することが可能なサポートサービスを含む、事前定義済みのオプションから、ニーズに最適なソリューションを選択することができます。事前に大金を支払う必要がなく、加入して使用したら、返却または更新するだけです。古い設備の処分にも困りません。拡張が必要になったら、単純にハードウェアやサービスを追加します。HPE チャネルパートナーは、ハードウェア、ソフトウェアおよびサポートサービスを単独のソリューションで提供し、シンプルな加入契約を締結します。

HPE のテクノロジーリフレッシュプログラムでは、機器を所有するのではなく、予測可能な月単位または 3 か月単位の支払いにより、ルーチンのリフレッシュサイクルを 24~48 か月に短縮します。これにより、老朽化した IT 機器を使用し続けてアップグレードが遅れることがなくなります。

シンプルで安全、手頃な価格

HPE 小規模企業向けソリューションは、低価格で使いやすいオンプレミスおよびハイブリッドクラウドソリューションにアクセスでき、セキュリティを犠牲にすることはありません。HPE 小規模企業向けソリューションの詳細については、本文書に記載されているリソースをご覧ください。HPE または認定パートナーの担当者までお問い合わせください。findapartner.hpe.com/で最寄りの IT リセラーを検索していただけます。

関連資料

- [ソリューション概要: HPE Small Business Solutions for Virtualization](#)
- [HPE ProLiant サーバー QuickSpecs](#)
- [HPE ProLiant サーバーオプション](#)
- [IT サポートサービス](#)
- [最新情報はこちら](#)
- [iQuote](#)



詳細情報

hpe.com/info/smb

HPE のソリューションパートナー



お客様のニーズに最適な製品をお選びください。
プリセールススペシャリストにお問い合わせください。



Chat



Email



Call



今すぐ共有



アップデートを入手

© Copyright 2018–2020 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。

本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いません。

AMD は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。Intel Xeon、Intel Xeon Silver、Intel Xeon Gold およびインテルのロゴは、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。Linux は、米国またはその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。Microsoft および Windows Server は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。SAP は、ドイツおよびその他の国における SAP SE (または SAP 関連会社) の商標または登録商標です。VMware vSphere および VMware vSphere vMotion は、米国およびその他の管轄地域における VMware, Inc.の登録商標または商標です。すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。